

**漢字学習がなぜ他の領域の学習効果を高めるのか、その実際を知りたい。**

絵画の指導、歌唱の指導にこれを取り入れて効果をあげた実例を、**78～80 ページ**に述べてありますので、それをお読みいただいたら、おわかりいただけると思います。

子供にお話をする時など、ただ話をするよりも、その話の中に出てくる言葉を黒板に書いて見せながら話したほうが、子供たちの注意力を話し手のほうに集中させることができ、ずっと有効です。

ただの話ですと、十分間でも話に子供たちの心を集中させておくことはむずかしいことですが、漢字を黒板に書き、時々これを指し示すことによって、子供の心を長く話に集中させることができるようになります。

また、話が終わっても、大切な言葉が黒板に列挙されていますので、それによって話の整理ができ、話の記憶も強められますので、それだけでも、学習の効果が高められる理由があります。

つまり、漢字の提出により、その学習が引き締まって学習効果が高ま

った上に、“漢字を覚える”というおまけまでつくわけです。



漢字の提出により話の整理ができて学習効果が高まる

<sup>1</sup> 本書の「指導編」の「石井方式はあらゆる学習指導に適用できる」の前半部分を指している。